

学校教育目標：自ら学び 心身ともに しなやかでたくましい生徒の育成
スローガン：淵スピリットで 一歩前へ！

令和7年10月20日

No.11

長崎市立淵中学校

文責 校長 岩下 俊明

学 校 だ よ り

「連合音楽会」一つになる

「第75回長崎市中学校連合音楽会」が10月17日に開催されました。音楽研究部会の校長先生のあいさつでは、1950年に始まったように、戦後間もなく、開催された音楽会であるので、その当時の平和を願う気持ちが現在も引き継がれてきているとのお話がありました。

淵中学校は吹奏楽部と3年生全員が出場しましたが、最後の出番でトリを務めました。150名を超える大人数での迫力ある演奏でした。

1曲目は吹奏楽部が「ヒットパレード“The Fuchi Base”」の曲目を演奏しました。会場の皆さんからも曲に合わせて手拍子を行ってもらい、会場みんなが一つになったように感じました。

2曲目は「翼をください」を吹奏楽部の演奏に合わせて、3年生全員が合唱しました。

迫力のある歌声がホール全体に響き渡りました。これまでの中庭で練習してきた成果が十分に発揮され、参観に来られた方に感動を与えるものになったと思います。

最後は、会場にいる人全員で「ふるさと」を合唱しました。指揮は音楽科の平野先生が行いました。淵中学校は出演が最後でしたので、そのままステージで合唱に参加しました。

他の学校の演奏もみんな素晴らしく、見て、聞いて学ぶことも多くあったと思います。

ブリックホールのステージで演奏を行うという非日常の中で、いい思い出ができたのではないかと思います。



授業の様子から

学校での授業の様子を紹介します。

1年生の国語の授業は、南部先生が指導していますが、先日、「星の花が降るころに」という小説を題材とした授業が行われていました。最初の授業で、学級全員で一文ずつ分担して教科書の本文を読み進めるリレー読書が行われました。読み終えた後に、クロムブックを用いて、登場人物について尋ねたり、誰が上手に読むことができたかを投票したりするような取組がなされていました。多くの投票を受けた読み名人は誰だったのでしょうか。

Ajisai English Speech Contest

10月18日（土）、長崎原爆資料館ホールにて第13回あじさい English Speech Contest が開催されました。本校からは3年生の萩原太郎さん 筒井優月さんの2名が参加しました。市内の中学校から18名の参加がありましたが、みんな発表に工夫を凝らし、自分の夢や長崎への思いなどを堂々と発表していました。萩原さんは「長崎プライ」のタイトルで 筒井さんは「長崎の味と学校給食」のタイトルでスピーチを行いました。プライとは南アフリカで行われる日本のバーベキューのことだそうです。2人ともジェスチャーを交えながら、伝えたい部分を強調するなど抑揚をつけた見事な発表でした。萩原さんが最優秀賞、筒井さんが奨励賞を受賞しました。子どもゆめ体験参加者の発表もありました。全員が体験し学んだことを英語で語る姿が見られました。

